

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	Webプランニング論 (Web Planning)		
ナンバリングコード	P21003	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 標準レベル Web
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修: 情報コミュコース 選択: 情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース		
授業コード	P100351	クラス名	-
担当教員名	坪倉 篤志		
履修上の注意、履修条件	基本的なWindows PCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)と学内LANの利用(Webからの情報収集、メール等)ができることです。課題提出を重視します。毎回ステップアップ型で授業を進めますので、出席を欠かさないでください。評価演習と2度の小テストは必須事項です。他は備考欄を参照すること。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	ユーザ中心ウェブビジネス戦略 株式会社ビービット、人を賢くする道具 D.A. ノーマン(著) 新曜社、ヒューメインインタフェース ジェフ ラスキン(著)、MIND HACKS Tom Stafford, Matt Webb 著		
関連科目	Webデザイン、コンテンツ企画論、デジタルコンテンツ論、Webシステム構築		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	本科目は、eコマースサイトの設計、運用、保守の各開発工程を計画する際に必要となる基礎的な知識及び戦略の習得を目的とします。今日、Webを活用したビジネスの急激な増加しており、最適なプランニングが行える人材が求められています。具体的には、コストマネジメント、リスクマネジメント、eビジネスの設計・運用・保守に関する計画手法、eコマースサイトデザイン、開発プロセス等です。これらの学習を演習形式で行い、Webサイト構築に向けたマーケティング、プランニング、デザインに関する基礎的な知識と技術を習得します。
授業の概要	Webを設計・設置・運営するために必要な知識の学習を、座学と演習から学習します。将来、ビジネスにおけるWebの活用や運営、新規構築やWeb改善に向けた取り組みについて学習します。この分野は非常に多岐の分野にわたる知識や、取り組みが必要になります。(あくまでも使い方の学習ではありません)
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 調査学習 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	人が戸惑わない、使ってもらえるWebサイト設計ができる	10点	10点	5点
【知識・理解】	Webサイトの利用者の行動に対する心理やきっかけに対する知識	10点	10点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	Webサイト分析、グループワーク	10点	10点	5点
【思考・判断・創造】	人を動かすきっかけや心理を考察できる。	10点	10点	5点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
レポートの提出、レポートの記載内容 課題やワークへの取り組み				
フィードバック方法 ・課題:LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説 ・試験:すべての試験結果は翌週以降に返却する				

○その他
出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をこなさい。登録無き場合、欠席と記録します。演習では、教員が指定するWebシステムやサーバを用います。
第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。
課題への評価は、翌授業回の朝に行います。課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出しなさい。課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを参考にせず、問題解決できる能力を修得してください。(試験などは各個人での取り組みです) スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。
授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。)
課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。
技術的な進化がめまぐるしい分野です。各自で日々、この分野に対するニュースや最新技術、コンテンツに触れる取り組みをしなさい。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：Webプランニング論 (Web Planning) 担当教員：坪倉 篤志	授業コード：P100351
学修内容		
1. ユーザ中心思考の背景とネットユーザ行動特性 Webと利用者の関係、そして利用者がWebに訪問した際に行なう行動について解説を行ないます。		
予習：ビジネスにおいてWebが活用されている場合について調査しなさい。		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。		(約2.0h)
2. 認知科学概論 Webサイトに訪問した利用者が受ける感覚的な側面は、Webの設計において非常に重要な要素です。ここでは、人間の認知的な側面の概論について解説を行ないます。		
予習：人の認識や記憶について、様々な文献やサイトにて調査しなさい		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。解説知見を活用したサイトの調査		(約2.0h)
3. ヒューマンインタフェース概論 Webサイトに訪れた利用者は、Webサイトを閲覧すると共に操作を行ないます。ここでは、Webサイトと人間との対話について、ヒューマンインタフェースとしての側面の概論について解説を行ないます。		
予習：使いやすさを求めたヒューマンインタフェースの事例を調査		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。解説知見を活用したサイトの調査		(約2.0h)
4. ユーザ中心設計手法とは Webサイト設計においては、ユーザの利用者としての視点を考慮したデザインが重要な要素となります。ここでは、ユーザを中心に置いた、Webデザインにおける設計手法について解説を行ないます。		
予習：ユーザ中心設計についての調査と学習		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。解説知見を活用したサイトの調査		(約2.0h)
5. ユーザ中心設計を進めるツール(1/2) ユーザを中心に置いたWebデザインで用いるツールについて、解説を行ないます。また、ユーザビリティの評価において用いられる手法等についても解説を行ないます。		
予習：ユーザ中心設計でもちいるツールについての調査と学習		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。解説知見を活用したサイトの調査		(約2.0h)
6. ユーザ中心設計を進めるツール(2/2) ユーザを中心に置いたWebデザインで用いるツールについて、解説を行ないます。また、ユーザビリティの評価において用いられる手法等についても解説を行ないます。		
予習：第5回資料の再確認と、掲載されているが未説明部分について、各自で調査		(約2.0h)
復習：小テストへの取り組み結果から、取り組みが弱かった部分の把握と、再学習と課題への取り組み		(約2.0h)
7. 前半の復習と小テスト 本授業の前半部分の復習に取組みます		
予習：前半の資料全体について見直し、課題への再取り組み		(約2.0h)
復習：小テストへの取り組み結果から、取り組みが弱かった部分の把握と、再学習と課題への取り組み		(約2.0h)
8. サイト戦略の立案 Webサイトの設計において、設置側と利用者側の目的の分析が非常に重要な要素となります。ここでは、サイト設計から運用までのプロセスにおける第一段階の立案について、解説を行ないます。		
予習：第4回配布資料の、特に戦略立案について資料に目を通しておいてください		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。		(約2.0h)

○授業計画	科目名：Webプランニング論 (Web Planning) 担当教員：坪倉 篤志	授業コード：P100351
学修内容		
9. サイト戦略の検証 サイト戦略を立案した後、それらが、利用者側から見た場合についての視点での評価、検討の手法について解説を行ないます。		
予習：第4回配布資料の、特にサイト戦略の検証の資料について目を通しておいてください		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。		(約2.0h)
10. サイト詳細画面設計と検証 画面設計 情報構造の設計において、最終段階として、更に詳細な調整についての実施方法、事例紹介を実施いたします。		
予習：第4・5回配布資料の、特に各種ツールについて目を通しておいてください		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。		(約2.0h)
11. サイトの効果検証 Webサイトが完成した後の、運営・効果検証の段階と手法について解説を行ないます。		
予習：Webサイトに対するUI評価について、調査しておくこと		(約2.0h)
復習：配布資料の空白部分の穴埋めと課題への取り組み。		(約2.0h)
12. 評価演習(1/3) 現存するWebサイトのユーザビリティ評価を実施します。ここではグループワークを主体とし、各人が一人の専門家として様々な視点で評価を行ないます。		
予習：今期の講義資料全体を見直ししておくこと。		(約2.0h)
復習：各自で取り組んでいる評価を完了させておくこと。課題への取り組み。		(約2.0h)
13. 評価演習(2/3) 評価結果を元に、発表会に向けた準備を行ないます。発表はグループワークとし、それぞれのグループ内で、分担された担当に取組みます。		
予習：グループディスカッションに向けて各自で評価した結果を整理		(約2.0h)
復習：グループディスカッションと評価結果の見直しを整理、課題への取り組み。		(約2.0h)
14. 評価演習(3/3)・発表会 各グループごとに発表を行ないます。これらの中で、各グループ間でのディスカッションを実施します。		
予習：プレゼン資料の用意		(約2.0h)
復習：課題への取り組み		(約2.0h)
15. 授業全体の復習と小テスト 本授業全体の復習に取組みます。		
予習：今期の資料全てを整理し、見直しおいてください。まだ空白箇所がある場合は埋めておく事		(約2.0h)
復習：今期の課題で評点が低い・未取り組み・未提出がある場合、再取り組みし提出しておくこと。		(約2.0h)
16.		
予習：		
復習：		